

基本  
目標

1

## 安全で安心して暮らせるまち

## ①治水・防災

## ■ 目指す姿

- ◇災害等に対する対応力が強化され、安心して暮らせるまち
- ◇各家庭や地域の防災意識が高まり、市民の災害に対する備えができているまち
- ◇自主防災組織を中心に、地域における自助・共助による防災力が高いまち

## ■ 現 状

- 地域防災計画の作成により、災害予防、災害応急対策等にかかる市及び各種団体の事務、業務等を定めています。
- ハザードマップの作成、防災行政無線・各種メールシステムの整備等により、災害時の情報伝達の多様化を図っています。
- 市内を流下する18本の一級河川は、台風や局地的豪雨等による河川や排水路等の氾濫被害をもたらす恐れがあります。また、局地的集中豪雨等により、道路の冠水被害が発生しています。
- 近年、大規模災害発生時における自助・共助の重要性が再認識されていることから、地域の自主防災力を強化しています。
- 市や自主防災組織が中心となって行う防災訓練、防災研修の実施等、市民及び地域の防災力を強化するための取組を行っています。
- 地域防災の中核をなす消防団（水防団）は、近年、団員の確保が困難となってきています。

## ■ 課 題

- 災害が発生した時に市民が迅速かつ適確な避難行動をとれるよう、市民にわかりやすい情報提供が必要です。
- 建物の耐震診断や耐震補強への支援や、防災備蓄倉庫の増設や食料、資機材等の備蓄を進める必要があります。
- 河川改修等の計画的な治水事業と、公共下水道の雨水渠の整備等が必要です。
- 災害時、避難等に支援が必要な方への対応を、地域で検討する必要があります。また、各地域での自主防災組織の設立促進や既存組織の維持・拡充が必要です。
- 市民への防災意識をさらに高めるため、防災に関する知識や技術の普及啓発を進める必要があります。
- 団員の確保に向けて、女性や若年層も意識した消防団活動の理解や参加意識の向上を図る必要があります。
- 防災上、居住環境上の課題を抱える密集市街地では、都市の安全確保のための整備・改善が求められています。

## ■ 前期計画中の達成状況

指標	単位	前期計画策定時	R1(2019) 実績値
防災備蓄倉庫の増設	棟	11	11
災害応援協定の締結先(累計)	箇所	34	54
防災訓練等参加者(人/年)	人	700	300
消防団員数	人	220	246
耐震性貯水槽の整備	箇所	5	5
牛牧排水機の整備(排水量)	m <sup>3</sup> /s	3	3
住宅の耐震化率	%	80	80

## 施策の方向性

施策の内容	主な事業
<b>(1) 防災体制の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の防災組織体制や災害時の外部応援体制を充実します。</li> <li>防災情報等の発信手段の多様化や情報内容を充実します。</li> <li>避難所や防災備蓄倉庫へ非常用物資及び資機材を充実します。</li> <li>避難時の生活用水確保のための耐震性貯水槽を整備します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハザードマップの更新及び地域防災計画の改正</li> <li>○各種団体との災害応援協定の締結【創】</li> <li>○市内の防災備蓄倉庫の増設、耐震性貯水槽の設置</li> </ul>
<b>(2) 地域防災力と防災意識の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会、自主防災組織等への防災研修等の開催、防災訓練の実施等を支援します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種防災訓練、研修等の実施【創】</li> <li>○自主防災組織への支援【創】</li> </ul>
<b>(3) 消防団員の確保</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>団員の高齢化や減少を踏まえた多様な団員を確保します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○団員確保対策（PR事業等）の実施【重】</li> <li>○関係機関への協力依頼</li> <li>○女性・学生消防団員の募集</li> </ul>
<b>(4) 治水事業の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>犀川遊水地事業に伴う牛牧排水機場を改修します。</li> <li>内水排除対策を充実します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○牛牧排水機場改修事業</li> <li>○遊水地・調整池整備事業</li> </ul>
<b>(5) 災害に強い住環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の耐震性向上等のための耐震診断や補強工事等への支援を行います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築物等耐震化促進事業【重】</li> </ul>

## 今後の目標指標

指標	単位	現状値 (後期計画策定時)	5年後 R7(2025)	10年後 R12(2030)
防災備蓄倉庫の増設	棟	11	18	25
災害応援協定の締結先(累計)	箇所	54	56	72
防災訓練等参加者(人/年)	人	300	2,500	3,000
消防団員数	人	246	257	257
耐震性貯水槽の整備	箇所	5	6	6
牛牧排水機の整備(排水量)	m <sup>3</sup> /s	3	4.7	4.7
住宅の耐震化率	%	80	97	98

## 関連計画

瑞穂市地域防災計画 瑞穂市消防団5ヵ年計画 瑞穂市国民保護計画 瑞穂市国土強靱化地域計画  
瑞穂市公共下水道全体計画 瑞穂市耐震改修促進計画 瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本  
目標

1

## 安全で安心して暮らせるまち

## ②防犯・交通安全

## ■ 目指す姿

- ◇地域を守る体制が充実し、犯罪が少ないまち
- ◇交通安全への意識高揚や安全対策の推進により、交通事故の少ないまち
- ◇市民が安心して消費生活を営むことができるまち

## ■ 現 状

- 地域の見守り機能の弱体化や犯罪手口の巧妙・悪質化等により、いつ犯罪や詐欺に巻きこまれるかわからない状況となっています。
- 本市では、市職員が朝日大学学生等の市民ボランティアとともに青色回転灯を装着した車を利用して地域パトロールや子どもの見守り活動を行っており、警察だけでなく、地域住民、行政がそれぞれの役割を担い、連携しながら地域の防犯体制を構築しています。
- 本市には、国道 21 号や主要地方道北方多度線等の幹線道路が通過しており、市内全域において交通量が多いことから、交通事故が多い状況にあります。また、交通事故の被害者の多くは、子どもや高齢者となっています。

## ■ 課 題

- 地域における見守り機能の強化が犯罪発生を抑止することにつながるため、地域ぐるみの防犯対策が必要です。
- 押し売りや架空請求、振り込め詐欺等の犯罪を抑止するため、消費者対策に関する普及啓発に取り組む必要があります。
- 交通事故の多くは交通ルールやマナーを無視したモラルの低下に起因することが多く、幅広い啓発活動の展開等により交通安全の意識を高めたり、交通事故を抑止するため、交差点・通学路等の道路環境や歩道等の交通安全施設の点検・整備が求められます。
- 交通事故を防止するため、子どもから高齢者まで、年齢に応じた交通安全教育をさらに徹底する必要があります。

## ■ 前期計画中の達成状況

指標	単位	前期計画策定時	R1(2019)実績値
交通安全出前講座及び防犯出前講座の開催回数	回/年	100	115
街路灯設置数	基	4,466	4,752
青色回転灯防犯パトロール活動 (貸出による活動を含む。)	回/月	4	8
自転車盗難被害件数	件/年	95	70

## 施策の方向性

施策の内容	主な事業
<b>(1) 防犯・交通安全教育</b> ・ 子どもや保護者、高齢者を中心に、防犯及び交通安全の出前講座等を実施します。	○交通安全出前講座【創】 ○防犯出前講座【創】
<b>(2) 防犯環境の充実</b> ・ 街路灯の増設により、夜間の防犯環境を充実します。	○街路灯設置事業
<b>(3) 青パト活動の規模拡大</b> ・ 朝日大学の学生や防犯ボランティアの方々の協力による防犯パトロールを実施します。	○青色回転灯防犯パトロール活動 ○青色回転灯防犯パトロール車貸出事業
<b>(4) 自転車盗難防止</b> ・ 北方警察署、防犯協会、朝日大学等と協力して啓発チラシの配布、駐輪場に注意書きを掲示します。	○協力団体との啓発活動
<b>(5) 交通安全施設等の設置</b> ・ カーブミラーやガードレール等の施設を充実します。 ・ 一時停止等の交通規制実施について、積極的に働きかけます。	○交通安全施設等整備事業 ○警察・公安委員会に対する要望活動
<b>(6) 消費者行政の推進</b> ・ 消費生活に関する様々なトラブルに対応するため、消費生活相談員による相談事業や消費者事故等に関する必要な情報を市民に提供、啓発することで、消費者被害の発生・拡大を防止します。	○消費生活相談体制の再整備事業 ○地域社会における消費者問題解決力の強化に関する事業

## 今後の目標指標

指標	単位	現状値 (後期計画策定時)	5年後 R7(2025)	10年後 R12(2030)
交通安全出前講座及び防犯出前講座の開催回数	回/年	115	130	145
街路灯設置数	基	4,752	4,850	4,950
青色回転灯防犯パトロール活動 (貸出による活動を含む。)	回/月	8	12	15
自転車盗難被害件数	件/年	70	50	45